



上山小学校「風のたより」

令和6年1月31日（水） 校長 有谷孝彦



学校経営目標：ふるさとを愛し、
自らの未来を切り拓く児童を育成する



こんな時こそ「スマイル上山！」

なんとも恥ずかしい話です。校長が感染症を拡散してしまったのかもしれませんが。インフルエンザA、インフルエンザB、新型コロナウイルス感染症のトリプルパンチで、市内の学校は学級閉鎖等を余儀なくされております。私は日頃の健康管理がなっておらず（暴飲暴食など）2学期からずっと体調が悪く風邪症状が治まらなかったのですが、ついにインフルエンザAに罹患しました。39度を超える発熱には苦しみましたが、病院でインフルエンザの検査用の大きめの綿棒？をこれでもかと鼻の穴の奥に突っ込まれた苦しみがたまりませんでした。皆様もバランスの良い食事や生活習慣を励行くださいね。



右上の写真は、県下一周駅伝に出場した本校の児童2名です。諫早市代表に2名も入ることは快挙であります。寒くて、感染症も流行る中に努力を積み重ねて成果を上げたのです。上山小の子どもたちに教わるがたくさんあります。



pinpa-202303

いきものがかり

「ありがとう」から抜粋

ありがとうって伝えたくて
あなたを見つめるけど
つながれた右手が
まっすくな想いを
不器用に伝えている
いつまでも ただ いつまでも
あなたと笑っていたいから
信じたこの道を
確かめていくように
今 ゆっくりと
歩いて行こう

「もぐら打ち」!

上山地区に残る伝統行事にお誘いいただきました。上山地区に数町残っているようですが、今回は「野中町」の「もぐら打ち」に参加させていただきました。



「もぐら打ち」とは、小正月の頃に、無病息災、五穀豊穰を願って、子どもたちが藁を束ねて作ったもぐら打ちの棒を持って田んぼや近隣の家を回る地域の伝統行事です。元来は、田畑を荒らすもぐらの害を防ぐために行われていた作業が、五穀豊穰や家内安全を祈る儀式となったものだそうです。特別老人養護施設や個人のお宅を回りながら「今日は正月14日、こなたのお家にお祝い申そう」の子どもの声と藁をたたきつける音が響き渡りました。いつまでも日本の文化が引き継がれますように。

ちょっとお耳を!

学校内の組織といえば、各学級や委員会活動、クラブ活動などがあります。組織にはそれぞれにリーダーがおり、まとめ役をしています。有能なリーダーは、まとめ役を超え、組織を成長させます。3学期の当初に先生方や子どもたちに行動の伴う発言をするように話をしました。私が教わった期待するリーダー像は.....

「無能なリーダー」：指示するだけ

「有能なリーダー」：一緒に手を動かす

「無能なリーダー」：批判ばかりする

「有能なリーダー」：具体的なフィードバックを提供する

「無能なリーダー」：自分の考えしか認めない

「有能なリーダー」：多様な意見を尊重する

「無能なリーダー」：短期的な成果に焦る

「有能なリーダー」：長期的なビジョンを持つ

「無能なリーダー」：問題を隠す

「有能なリーダー」：問題を共有し解決策を模索する



☆上山小のHPただいま工事中です。しばらくお待ちください。